

## 令和4年度意見交換会の報告

## 国土交通省道路局、地方整備局等との意見交換

PC建協では、6月10日に国土交通省道路局、7月から11月にかけて、各地方整備局、北海道開発局、および沖縄総合事務局との意見交換会を行いました。コロナ禍の中、今年度は全ての場所で対面形式にて開催することができました。

次の5テーマを提案し、意見交換を行いましたので報告します。



▲意見交換会の様子

## 1. 年度工事量の安定的な確保

各地域の年度工事量の安定化は、計画的経営や雇用の安定を図るうえで極めて重要だと認識しているとの回答が多かった。また今年度は、若い世代に「技術」と「夢」をつなげる新規プロジェクトの創生を提案し、強靱で信頼性の高い国土幹線道路ネットワークの構築などの検討を進めるとの回答があった。

## 2. 働き方改革の推進

すべての発注者が週休2日工事に取り組み必要性を訴え、地域の発注者協議会で周知していくとの回答があった。また施工管理業務の合理化等、総労働時間の削減に向け、さらなる推進を図っていくとの回答が多かった。技能労働者の処遇改善では、建設キャリアアップシステム（CCUS）義務化モデル工事の発注を要望し、拡大を図っていくとの回答があった。

## 3. 生産性向上の推進

生産性向上のためにはプレキャスト技術が不可欠であり、その有効性

を訴え、「コンクリート橋のプレキャスト化ガイドライン」の活用について、さらなる周知をしていくなどの回答があった。また、BIM/CI/M活用の発注者指定型工事での発注を要望し、段階的に拡大しているとの回答があった。

## 4. PC橋の長期保全の推進

PC橋補修工事における技術提案・交渉方式のさらなる発注要請に対し、より高い効果が発揮できる大型の橋梁補修工事などへの適用を検討していくとの回答が多かった。地方自治体支援として直轄代行業務のさらなる推進の提案に対し、道路メンテナンス会議等を通じ、地方自治体から要望があれば検討するとの回答が多くあった。

## 5. PC建築（PCaPC造の建築）の推進

庁舎計画へのPCaPC造の建築の推進の提案に対し、施設規模や特性に応じ、工期やコストなどを総合的に判断し活用を検討するとの回答があった。また防災施設へのPCaPC造の推進の要望では、地方自治体との会議を通じて積極的に広めるとの回答があった。

## 高速道路株式会社との意見交換会

PC建協では、10月に西日本高速道路㈱、11月に中日本高速道路㈱との意見交換会を行いました。いずれも対面形式での開催です。

PC建協からは次の3テーマを提案し、意見交換を行いましたので報告します。

## 1. 年度工事量の安定的な確保

地域拠点確保のための工事量の確保について要望し、特定更新事業等、今後も相当数の工事発注を計画しているとの回答であった。また高速道路3社で検討している「高速道路資産の長期保全及び更新のあり方に関する技術検討委員会」において最新の知見を踏まえた更新事業等の追加について議論がなされていることが紹介された。

## 2. 働き方改革の推進

原則、週休2日の発注者指定方式で発注がなされている中、中日本高速道路㈱では、週休2日工事制度が定められる以前に基本契約を締結した工事でも個別契約のタイミングで週休2日モデル工事として切り替えていくとの回答があった。総労働時間の削減に関し遠隔臨場などの運用が始まり拡大に向け検討を進めると回答があった。

### 3.生産性向上の推進

生産性向上のため、プレキャストの有効性について紹介した。またPC建協会員各社が取り組んでいるICTについて適用可能な工事での採用を提案し、適用可能であると判断できるものについては積極的に採用していきたいとの回答があった。

### 令和4年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰」、「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰」

令和4年10月18日に東京都千代田区の有楽町よみうりホールで令和4年度「優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）」、「青年優秀施工者不動産・建設経済局長顕彰（建設ジュニアマスター）」の顕彰式典が開催されました。

今回は建設マスターに487人、建設ジュニアマスターに106人が受賞されました。PC建協からは建設マスターを4人、建設ジュニアマスターを2人推薦し、合計6人が受賞されました。

顕彰者は次のとおりです。

#### 【建設マスター】

さいとうPC建設(株) 落水勝也氏  
 (株)藤木組 片山秀貴氏

ヘイセイウイング(株) 佐藤信也氏  
 (株)三輝 中本 勝氏

#### 【建設ジュニアマスター】

(株)西和工務店 千葉侑也氏  
 (有)山石建設 吉松孝哲氏

### 建設人材育成優良企業表彰

令和4年10月28日に「建設人材育成優良企業表彰（主催：国土交通省、建設産業人材確保・育成推進協議会）」の発表がありました。

今回は建設業の担い手の確保及び育成に積極的に取り組んだ功績から、ドーピー建設工業(株)が「不動産・建設経済局長賞」を受賞しました。



▲表彰状伝達式の様子

### 令和4年度道路功労者表彰

道路整備事業や道路愛護・美化保全などに推進・尽力した団体・個人を対象とする「令和4年度道路功労者（主催：（公社）日本道路協会）」に、PC建協が推薦した3人が表彰されました。

オリエンタル白石(株) 中村明治氏  
 (株)ピーエス三菱 田中新二氏  
 (株)安部日鋼工業 村上公彦氏

### PC建協書籍の紹介

この度、PC建協ではPC橋になじみの薄い積算技術者にも理解しやすいように挿絵、参考資料を多く記載した「PC斜材付きπ型ラーメン橋 標準積算要領」を発刊しました。詳細や購入方法については、PC建協ホームページをご覧ください。



### PC技術専門家を派遣

PC建協では学生にPC構造に興味を持ってもらうことを目的に各地区でPC技術専門家派遣事業を展開しています。

#### （関西支部）

令和4年10月3日に関西大学環境都市工学部都市システム工学科3年生39人を対象に「プレストレスト・コンクリート特別講義」を実施しました。当日はPCの概要や技術を用いた構造物の概要説明、PC橋の設計演習、神鋼鋼線工業(株)によるPC緊張の動画の視聴などを行いました。



▲関西大学での講義の様子

#### (四国支部)

令和4年11月28日に香川高等専門学校建設環境工学科3年生40人を対象に「プレストレスト・コンクリート入門」と題した講義を実施しました。

講義では、PC建協の紹介に始まり、建設業界の現状と将来、さらには国内外におけるPC橋の施工実例などを解説しました。また、各セクションに分かれ、橋梁模型の組立てやPC緊張を演し、最後に学生との自由討議を行ってPC業界への興味を促しました。

その他、令和4年8月以降に実施されたPC技術専門家の派遣講義は次のとおりです。

開催日	支部名	学校名
10月12日	関東	芝浦工業大学工学部
10月13日	九州	長崎大学工学部
10月18日	九州	鹿児島大学工学部
11月1日	関東	東京大学工学部
11月16日	関東	東京理科大学理工工学部
11月16日	九州	熊本大学工学部
11月21日	北陸	新潟大学工学部
12月2日	中国	広島工業大学工学部

#### 各地でPC技術講習会開催

PC技術に関する講習会が各地で開催されました。

#### (北海道支部)

令和4年11月18日に「令和4年度技術講習会(主催：PC建協、(一社)建設コンサルタンツ協会北海道支部)」を令和元年以来3年ぶりに開催しました。

今回初めてオンライン形式で実施し、若手から中堅の35人が受講しました。講習会ではPC橋の設計、架設、維持管理に関する基礎知識を解説し、完成工事などを紹介しました。



▲ 令和4年度技術講習会の様子

#### (北陸支部)

令和4年11月に「第8回わかりやすいPC橋の施工技術研究会(主催：PC建協)」を新潟市と富山市の2会場で開催しました。

本研究会は北陸地方整備局や地方自治体職員を対象に行っています。今回は17日の新潟会場に14人、24日の富山会場に14人の参加がありました。

当日はPCの基本と特徴(優位性)、PC橋の分類と架設工法、施工時の工程管理手法、生産性と品質の向上に向けた工夫、維持管理や安全管理などのポイントについて写真を交えて解説しました。

#### (中部支部)

令和4年10月13日にオンライン形式で行われた「令和4年度橋梁点検・補修設計研修(中級)(主催：静岡県建設技術監理センター)」において、自治体職員など29人に対して「コンクリート(PC)橋の損傷の特徴と損傷原因と補修事例より学ぶ」と題した講習会を行いました。

#### (中国支部)

令和4年9月22日に鳥根県松江市のくにびきメッセで行われた「令和4年度鳥根県第13回土木技術講習会(主催：(公財)鳥根県建設技術センター)」において、自治体職員など75人



▲ PC橋に関する技術講習会の様子

に対して「PC橋の維持補修と新しい取り組み」と題した講習会を行いました。テーマは「PC工事における生産性向上への取組」、「PC橋の点検要領と診断」、「PC橋の補修・補強技術」、「PC橋の維持保全に関する最近の話題」の4点でした。講習中、浜田地区と隠岐地区にリモート中継を行いました。

その他、令和4年8月以降に実施されたPC技術講習会は次のとおりです。

開催日	支部名	講習名	主催・共催	人数
8月2日	北陸	PC橋の施工技術と維持保全に対する実務講習会	(公財)福井県建設技術公社、PC建協	23人
8月9日	東北	土木技術専門研修(橋梁/施工[初級])	(公財)岩手県土木技術振興協会	20人
8月25日	関東	橋梁技術講習会	山梨県	36人
8月29日	関西	令和4年度第1回橋梁担当者会議 令和4年度第1回橋りょう維持管理研修会	京都府	44人
8月29日	関西	令和4年度県土整備部技術職員研修	和歌山県	38人
8月30日	東北	令和4年度第1回岩手県道路メンテナンス会議	東北地方整備局	51人
9月6日	関東	橋梁(PC橋)講座	長野県建設技術センター	47人
9月6日	北陸	令和4年度土木部技術職員研修(道路)	富山県	29人
9月7日、16日 22日、29日	四国	3協会合同技術講習会	(一社)日本橋梁建設協会 (一社)建設コンサルタンツ協会四国支団 PC建協	121人
9月14日	北陸	けんせつセミナー2022 「橋梁Ⅱ(上部工の設計・施工編)」	(一財)新潟県建設技術センター	80人
9月16日	九州	令和4年度宮崎県橋梁研修(スキルアップ研修)	宮崎県建設技術センター	18人
9月21日	関西	令和4年度建設技術職員専門研修 【技術管理(橋梁保全Ⅱ)講座】	(公財)滋賀県建設技術センター	29人
9月27日	関西	令和4年度第3回所内技術研修会	兵庫県加古川土木事務所	34人
9月28日	北陸	技術研修会	高岡市建設技術協会	18人
10月4日	東北	令和4年度道路構造物技術セミナー	東北地方整備局	10人
10月6日	関東	橋梁設計研修	(公財)とちぎ建設技術センター	15人
10月13日	東北	橋梁点検診断研修会	(一社)福島県測量設計業協会	79人
10月14日	九州	設計技術者のためのリカレント教育講座①	(一社)建設コンサルタンツ協会九州支部	97人
10月26日	関東	令和4年度道路構造物講習会	(一社)建設コンサルタンツ協会関東支部	96人
10月28日 11月2日	九州	2022年度特定道守コース	長崎大学大学院工学研究科 インフラ長寿命化センター	10人
11月1日	東北	山形県橋梁技術研修	山形県、(一社)山形測量設計業協会 (公財)山形県建設技術センター 山形県建設コンサルタント協会	193人
11月2日	関東	橋りょう技術研修会	埼玉県	57人
11月29日	中国	令和4年度鳥取県土木技術講習会	(公財)鳥取県建設技術センター	86人



▲建設技術展2022関東でのブースの様子



▲学生交流広場でのブースの様子

## 建設技術展示会に出展

最新の土木建設技術を展示する「建設フェア」が各地で開催されました。

### (関東支部)

令和4年11月16日と17日の2日間、東京都豊島区のサンシャインシティ展示ホール(なごみ)「Construction Cross 建設技術展2022関東(主催:日刊建設工業新聞社、共催:PC建協など)」が開かれました。今回は約1万1000人の総来場者がありました。PC建協もブース出展し、見学者へ積極的にアピールしました。

### (中部支部)

令和4年10月4日と5日の2日間、愛知県名古屋市の名古屋国際展示場(ポルトメッセなごや)で「建設技術フェア2022 in 中部(主催:建設技術フェアin中部運営委員会、後援:PC建協など)」が開かれました。今回は1万6786人の来場がありました。今回もPC建協は「学生交流ひろば」にブース出展し、189人が来訪しました。見学に来た学生の皆さんへPC業界の概要を説明する際、展示物のぴよんぴよん板へ実際に乗っていたり、PC構造物の丈夫さを体感してもらいました。

### (中国支部)

令和4年10月13日と14日の2日間、広島市南区の県立広島産業会館西展示館で「建設技術フォーラム2022 in ちゅうごく」(主催：建設技術フォーラム実行委員会 (PC建協などで構成))が開催されました。今回の来場者数は延べ1800人、オンライン基調講演には114人の聴講がありました。

PC建協はブース出展し、PC分野におけるICT活用と更新技術を紹介しました。



▲ 建設技術フォーラム2022 in ちゅうごくのブースの様子

## 令和4年度大規模津波防災総合訓練

### (四国支部)

令和4年11月13日に高知県南国市で南海トラフ地震を想定した「令和4年度大規模津波防災総合訓練(主催：国土交通省、高知県、高知市、南国市)」が開催されました。

16回目を迎えた今回は、物部川河川敷をメイン会場とし、津波避難施設「スポーツセンタータワー」など3箇所をサテライト会場として実施されました。

PC建協は広報ブースを出展し、PC技術で建てられた津波避難タワーなどを紹介しました。



▲ 令和4年度大規模津波防災総合訓練の展示ブースの様子

## 現場見学会開催

PC建協支部が主催する現場見学会が各地で開催されました。

### (東北支部)

令和4年10月29日に福島県石川町のいわき石川線石川バイパス工事5号橋「長郷田橋」の上部工事現場で福島工業高等学校都市システム工学科の4年生40人を対象に現場見学会を実施しました。本橋は橋長58・5mのポストテンション方式PC2径間連結バルブT桁橋(架設桁架設工法/楕ピーエス三菱)です。当日は事業概要や施工工程などを説明した後に工事現場へ案内しました。

### (関東支部)

令和4年12月7日に栃木県大田原市の川田建設(株)那須工場で前橋工科大学工学部の3年生38人を対象に現場見学会を実施しました。当日は事業概要やPC製品の製造工程などの説明後に工場内へ案内し、プレキャスト製品の製造ラインなどを紹介しました。

### その他

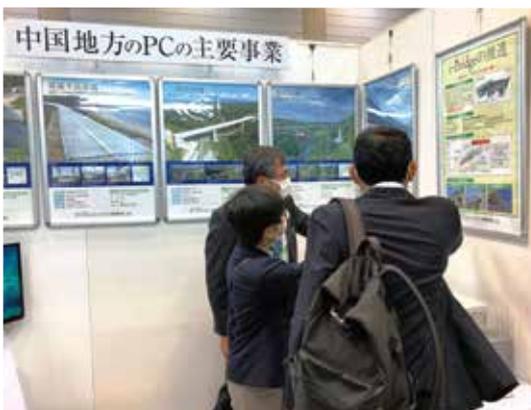
● 11月16日 愛媛県松山市・外環空港線余戸南跨線橋上部工事 (二社)建設コンサルタンツ協会、(二社)日本橋梁建設協会、PC建協 各

### 四国支部会員44人

● 12月8日 茨城県阿見町・阿見高架橋 (二社)建設コンサルタンツ協会 関東支部会員38人

## 第31回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム、出展

「第31回プレストレストコンクリートの発展に関するシンポジウム(主催：PC工学会、後援：PC建協)」が令和4年10月20日と21日に島根県松江市のくにびきメッセ(島根県立産業交流会館)で開かれました。PC建協ブースには102人が来場し、中国地方の主要なPC事業を紹介しました。



▲ PCシンポのブースの様子

全国から開通情報

(東北支部)

東北中央自動車道(東根北IC)村山本飯田IC)開通

令和4年10月29日に山形県の東北中央自動車道東根北IC)村山本飯田IC(延長8.9km)が開通しました。これにより東北中央自動車道(総延長23km)が全線開通しました。

村山ICで催された開通式典では、テープカット、くす玉割り、通り初めが行われ、今回の開通を祝いました。



▲村山ICでの開通式典の様子

出典：東北地方整備局山形河川国道事務所ホームページ  
(<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/index.html>)

(北陸支部)  
新九頭竜橋、開通

令和4年10月22日に福井県福井市の新九頭竜橋(橋長415m)が開通しました。本橋は新幹線と道路(上下2車線と歩道)の一体橋で、道路は県道福井森田丸岡線寺前町)上野本町(延長1550m)の一部となっています。開通式典には地元関係者や地域住民など400人が出席し、テープカット、くす玉割り、通り初めが行われました。また記念ランニングイベントには約800人が参加しました。



▲新九頭竜橋の開通式典の様子

(九州支部)  
西九州新幹線、開業

令和4年9月23日西九州新幹線(武雄温泉・長崎間、線路延長約66km)が開業しました。武雄温泉駅では、博多・武雄温泉間の在来線特急から同一ホームで乗り換えることで、博多・長崎間は最速1時間20分と、従来よりも30分短縮されました。

この開業で西九州地区の振興と発展に大きく寄与するとともに九州地域全体のさらなる浮揚に重要な役割を果たすことが期待されています。



▲新大村駅の出発式の様子

※写真提供：(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構(JRTT)

その他

- ・伊万里港臨港道路七ツ島線
- ・森林基幹道高千穂・日之影線

女大橋

乙

編集委員会

柳橋 則夫(編集委員長)、石井 一生(副委員長)、  
吉山 誠之(副委員長)、湯山 芳夫、大信田 秀治、鈴木 裕二、  
八木橋 浩隆、大塚 俊介、牧 哲史、太野垣 泰博

編集幹事会

荒畑 智志(幹事長)、小谷 仁(副幹事長)、瀬戸 裕一郎(副幹事長)、  
阪田 憲一、青木 隆昌、河野 雅弘、栗川 修、喜多 俊介、木村 良輔、浅野 真人、  
勝野 源基、岡本 修一、直井 秀市、濱野 義則、武内 涼太郎、坂田 貴俊

編集後記

今回は「沖縄復帰50周年」と題しての取材となり現地に赴きました。どこまでも青い空、いつまでも眺めていたくなる美しいエメラルドブルーの海。そして太陽の日差しを強く照り返す白砂のビーチ、南国ならではの風景に感動しました。特に観光スポットになっている古宇利大橋はそれらの風景にコンクリートの落ち着いた色彩を持つPC橋が溶け込み、全体的な美しさを更に演出していることが印象的でした。

また、渋滞解消のために整備された港川高架橋、牧港高架橋や通勤通学など那覇市内の移動に欠かせない手段として定着しているゆいレールを見ることで、人々の暮らしにPC技術が貢献していることが出来ました。この場をお借りして同行者の皆様には感謝いたします。

また特別企画「名橋をめぐって」は、我が国初めてのプレキャストブロック工法を用いた目黒架道橋と竣工から50年以上経過し重要な交通網として活躍する山陽新幹線吉井川橋梁を紹介しています。「こんなところにPCが!」はPCまくらぎを特集しています。国内で初めて採用されてから70年近くの歴史を有する鉄道輸送に欠かすことのできない重要なPC技術です。

読者の皆様におかれましては、このような先人たちが残してくれた優れたPC技術に興味深く御一読頂きますと幸いです。

(濱野)